

NEWS LETTER

発行：基幹型包括支援センター
NPOまち育てセンターりた、岡崎市長寿課
20の地域包括支援センター

～地域包括ケアと地域共生社会の実現に向けた学びを共有するゼミ～

今回は、広報支援モデルの取り組み報告と求人チラシの書き方講座、岡崎アイデアソンの報告を紹介します。

まずは包括を知ってもらいたい！

地域のコミュニケーションツールとしても発展を！

by ひな包括（広幡・井田学区）

【目的】センターの存在、活動方針・内容を紙媒体を中心に発信し、適切な利用促進がなされるように広報活動を行う。

【内容】従来は介護者教室案内チラシの裏面に包括紹介や注意喚起を掲載していた。コミュニケーションを図るために次年度から広報誌を新たに作成する。1年分の広報誌掲載予定情報の整理と記事作成に向けたネット帳の作成を進めてきた。

【期待する効果】

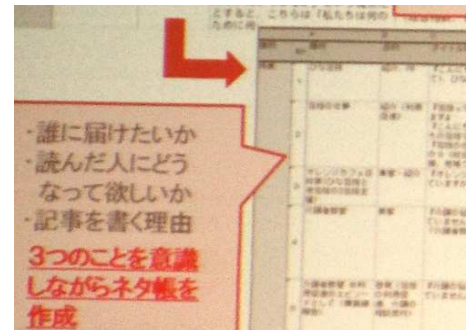
- ・地域住民の認知度向上
- ・地域住民が地域の活動や現状を知り、関心度が高まる
- ・関係機関との円滑なコミュニケーションツール、支援機関との連携強化
- ・組織内の認識を共有する

【予定】「ひな包括だより（仮称）」を年4回発行。

【助言】地域が大きく、集約の難しさもある。広報誌による“見える化”や取材によるコミュニケーションを通して、古き町の元々のコミュニティを活かしているのでは。

今回のキモ！

「目的」「趣旨」を考えることで、記事の「内容」や「方向性」が決まってくる。



人材確保が難しい今！基本を押さえて人を求む！

求人チラシの書き方講座 by まち育てセンターりた

「第4回 岡崎アイデアソン」の報告

by まち育てセンターりた・長寿課

地域包括支援センター

こんなコトします

相談窓口
高齢者を中心に、個人や地域の福祉に関する相談を受け付けます。



ここがイイところ

心強いチーム
チームプレーで、相談や寄りこに対応するので安心。

今回のキモ！

イラストを効果的に使う！

【目的】求人チラシの基本パターンを押さえて人材確保を図る。

【内容】掲載情報で共通する部分は募集要項、仕事内容等5つ程度。これを掲載箇所や媒体に応じて、微修正・応用を加えていく。

【意見交換】

Q. 皆は何を見て応募した？

⇒A. ホームページ、ハローワーク、折込チラシ、広告看板...

Q. (応募の際に) 何を重視する？

⇒A. 勤務形態、給与待遇、法人のネームバリュー...

【課題】求人情報は法人一括で行うセンターも多く、求人担当者へのアピールが必要。

【助言】イラストを効果的に活用することで、新卒者以外にアピールできる。例) 30～40歳代の女性等

【概要】前回のアイデアソンを受けてワーキングを重ねてきた“終活すごろく（仮名）”が形となった。当日は葬儀場や日帰り温泉施設、銀行など企業関係者や包括職員等約30名が集まりグループワークを行い、すごろくの活用・普及方法についてアイデア出しを行った。

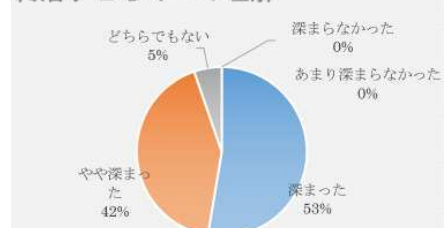
※終活すごろく：高齢期の課題をゲームを通して認識してもらおうと共に、岡崎市の取り組みについても知識が得られるもの

【アイデア】

- ✓ イベントで活用できそう（企業関係者）
- ✓ ACPのきっかけづくりに（病院関係者）
- ✓ スゴロクのコマを広告にして、仏壇・石屋等とコラボしてみても（葬儀関係者）

【予定】関係のできた企業と連携してイベント等で試して多面から意見を貰いながら、周知を図っていく。

終活すごろくへの理解



編集後記：「第4回 岡崎アイデアソン」では普段関わることの少ない、民間企業の方々と「終活すごろく」を足掛かりに終活について活発な意見交換がありました。企業側にとって何がメリットと感じ、このゲームに対してどういう関わり方ができるのか、自分では考えもつかないようなアイデアが沢山ありました。「いざ、実践！」と行きたいところですが、コロナ禍...必要性や手段、方法を考えるとなかなか身動きが取り難く、大変もどかしいです。知恵を出し合い、少しでも前に進めるようワークを重ねます。